

『ア笑ふてよる。何ふしたんや。』

「十兩おとり替え。」

『十兩……まあ宜え。持つて往き。』

「へ。お待たせいたしました」

ハイ憚りさん、き貴女方、何ん

『さあみんなお頂きなはれ』

『旦那さんおまきこ。』

『オ、ア、恐れ

貴ふて、好きな事して遊んどくなされ、伊八、未だ此他に。』

『ヘエ舞妓衆が居られますので。』

『ア、左様か、居て、や丈け皆這入て貰ふとくれ。』

『有難ふ存じまし

『へおいでやす。』

卷之三

卷之三

十五人であります。

『ア、そふか。伊八。チヨツと十五兩とり替えとくれ。』

「へエ。……ウーム畏りました。……帳場はん。ヘツヘ

『ア又笑ふてる。何やいナ。』

『十五兩おとり替え。』

『これ宜えかいナ。』

『氣遣いおまへん。』

『さ持って往き。』

ヘエ……お待たせ致しました。』

『オ、御苦勞ぢや。き貴女方、何もお土産か無い。』
『宛配けて貰ひましよ。伊ハ此他には。』

卷之二

『蓼花叢書』

『へい、でやす。』